

学校番号	56	学校名	静岡県立掛川東高等学校	校長名	樽松 一樹
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「清く、明るく、正しく、強く」のもとに、清楚で礼儀正しく誠実な人物を輩出する良き伝統を継承するとともに、全人的な教育を通して、多様な生徒一人一人の資質の伸長と自立を図り、人生を主体的に創造し、広く社会に貢献できる人間を育成する。

(2) 目標具現化の柱

- ア 自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と、人としての高い品性を涵養する。
- イ 主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる教養を身につける。
- ウ 社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する進路を探究する。
- エ 集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合えるたくましい心身と豊かな感性を育成する。
- オ 学校外との連携を大切にし、安心・安全で信頼される学校改善を行う。
- カ 生徒、教職員が、活力ある学校生活を送ることができる環境を整備する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自律と自立の力を育成するため、高い規範意識と、人としての高い品性を涵養する	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による「自律と自立」を後押しする生徒への接し方、「自律と自立」について考える LHR、学期末に行う振り返り等を通して、生徒の意識高揚を図る。 ・教職員、生徒ともに時と場をわきまえた丁寧な言葉遣い、清潔感を与える身なりを整える。 ・生徒会活動等を通し、ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラルを守る意識を養う。 ・ノーチャイムを通じて、次の予定を考え、時間を見て行動する力を育成する。 ・電子、紙媒体等に自己の行動記録をとらせ、日常生活から主体性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「「自律と自立」の意味について考え、行動することができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・「気持ちのよい挨拶、制服の端正な着こなしができた」を肯定する生徒 95%以上 ・「ルールやモラルの意義について考え、主体的にルールやモラル守ることができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・「次の予定を考え、時間を見て行動することができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・教員の指導前にポートフォリオが作れた生徒 75%以上 	全教職員 生徒課 全教職員 生徒課 生徒課 保健相談課 全教職員 生徒課 学年 担任
イ	主体的に学ぶ習慣を確立し、社会の変化に柔軟に対応できる教養を身につける	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が相互に授業見学を行い、多様な指導方法を学び、授業改善を推進する。 ・適切な課題を設定し、家庭学習習慣の定着をはかる。 ・ICTを活用した授業を展開し、生徒の学力の向上をはかる。 ・学びの基礎診断を実態把握と授業改善に活用し、生徒の学びの改善のアドバイスを行う。 ・情報セキュリティ意識の向上を進め、BYODによる1人1台端末を有効に活用できる環境整備と生徒及び教員の積極的な利用を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の授業見学を行い、自らの授業改善を行った教員 80%以上 ・「週5日以上自主学習に取り組めた」とする生徒 60%以上 ・授業がわかり、学力が伸びていると感じる生徒 75%以上 ・学習方法、学び方の改善を生徒に提供した教員 75%以上 ・「情報セキュリティを意識した活用を心掛けた」と答える生徒 90%以上 ・スタディーサプリ等の授業動画の活用率 50%以上 ・ICTを活用する授業を行う教員 80%以上 	全教員 教務課 教務課 図書情報課 進路課 全教員

様式第 1 号

		<ul style="list-style-type: none"> 進路実現のための模試や興味関心を高める検定に積極的に挑戦する生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検定や資格取得に挑戦した生徒 50%以上 	学年担任
ウ	社会の中で働く自分の理想像を見つけ、自己の可能性に挑戦する進路を探究する	<ul style="list-style-type: none"> 職業観を育て、そこから遡って高校卒業後の進路を考えさせる“しかけ”を行う。働くことの意味を考え、積極的に社会とかかわろうとする生徒を育成する。 「進路ミニ講座」「夢ナビ」「卒業生との交流」等を通して多様な進路を知るとともに、自分の興味関心の深化や職業観を育成する。 模擬試験の受験科目をできるだけ多くし学習成果の確認と進路選択の範囲を広げる。 3年間を見据えた総合的な探究の時間の指導方法を確立し、生徒の探究する資質能力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的に将来を考えた」と回答した生徒 100% 「本校の進路指導に満足している」生徒が 80%以上 進路相談、小論文、面接指導等に関わる教員 100% 年度内に 3 年間の計画を策定する。 	進路課 学年担任 全教員 進路課 教務課 (進路課)
エ	集団の中で切磋琢磨し、自他を認め合えるたくましい心身と豊かな感性を育成する	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動に積極的に参加できるよう教職員がサポートし、生徒の主体性を高める。 健康、生命を大切にする指導及び人権教育を計画的、継続的に実施する。 魅力ある図書館づくりおよび朝読書等により本に親しむ機会を増やし読書量を増加させる。 積極的に社会や学校全体に貢献する姿勢を育てるため、自発的活動の情報を発信し積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活に満足している」とする生徒 90%以上 「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかに積極的に参加できた」と答える生徒の割合 80%以上 授業を利用して外部の専門家を招いての講演会を年間 3 回以上開催し人権意識の向上を図る。 毎月 1 冊以上読書をした生徒および教員 80%以上 「日常の生活の中で、各自の役割を果たし、人のために行動できた」とする生徒 80%以上 	全教職員 生徒課 保健相談課 学年担任 図書情報課 生徒課
オ	学校外との連携を大切にし、安心・安全で信頼される学校改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> 学校外で高校生が参加できる活動・イベントの情報を積極的に発信し、社会に関わる活動への参加を促す。 P T A 活動の内容を充実させ、学校経営に負担なく関わられるようにする。 授業、学校・学年行事、部活動の様子をホームページ等で広報し、地域の学校理解を深める。 保護者等にアンケートを行い、学校経営の改善を行う。 C-ラーニングの活用した日々の出欠連絡及び事務連絡を進める。 大学や他の高校、海外とのオンラインなどを使った交流を年に 3 回以上行う。 教育相談、アンケート調査、スクールカウンセラーとの連携等により、生徒の心のケアを行とともに、生徒個々の情報を教職員で共有し、生徒が相談できる教職員を学校全体から選べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「進んでボランティア活動に参加できた」とする生徒 50% P T A 総会等への参加率 50%以上 ホームページ等で情報発信を行った教職員 75%以上 「掛川東高校の教育に満足している」との回答 75%以上 保護者及び生徒の C-ラーニングの登録率 100%、利用率 90% 校外の個人・団体と関連する教育活動をした教員 50%以上 「学校に信頼できる先生がいる」とする生徒 80%以上 	生徒課 (関係部活動) 全教職員 (総務課) 全教職員 (管理職) 図書情報課 全教職員 (進路課) 保健相談課

様式第 1 号

		<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修を月例で行い、危機管理意識を向上させる。 ・財政負担を絞った教育環境の整備と、学校経営予算の適正な執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の事故発生件数ゼロ ・施設に関する事故発生件数ゼロ ・監査等の指示・指摘事項ゼロ 	<p>管理職</p> <p>事務室</p>
カ	<p>生徒、教職員が、活力ある学校生活を送ることができる環境を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務遂行に努め、会議等は勤務時間を厳守するよう努める。(NES 掲示板の有効活用) ・2分前の行動により生徒、教職員の時間に対する意識を高める。 ・生徒の一般居残り時刻(17:45)、特別居残り時刻(19:30)を守る。 ・各自が週1日の定時退勤日を定め宣言する。 ・部活動ガイドラインの趣旨を踏まえた活動時間、活動内容を行う。 ・分掌、業務分担を平準化し、全教職員がチームとして業務遂行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定された時間内での会議 80%以上 ・授業等の始業・終業、遅刻者ゼロを目指す。 ・「下校時刻を守ることができた」と答える生徒の割合 80%以上 ・定時退勤できた教職員 80%以上 ・「趣旨を踏まえて活動できた」と答える教員の割合 100% ・負担感、多忙感が改善されたと感じる教職員 50% 	<p>管理職 各課長</p> <p>管理職 教務課 生徒課</p> <p>全職員</p> <p>全教職員 (管理職)</p>